

記者発表資料

平成27年9月9日
国土交通省九州地方整備局
八代河川国道事務所

南九州西回り自動車道現場見学会開催！！

～小川工業高校、玉名工業高校の生徒、計80名が現場見学～

国土交通省九州地方整備局八代河川国道事務所が施行している南九州西回り自動車道（あしきたいすみどうろ芦北出水道路）において、施工業者と共催による現場見学会を行います。見学会には小川工業高校、玉名工業高校の生徒合計80名が参加し、授業の一環として、「3D-MC（3次元マシンコントロール）コンクリートスリップフォームペーバ（CSP）」による情報化施工を見学します。詳細につきましては、下記及び別紙のとおりです。

記

日 時：平成27年9月16日（水） 13：00～14：30
平成27年9月17日（木） 10：30～12：00
（雨天時も実施します。）

参加者：9月16日：小川工業高校 土木科 2学年 40名（教師含む）
9月17日：玉名工業高校 土木科 2学年 40名（教師含む）

場 所：くまもとけんあしきたぐんあしきたまちゆのうらちさき熊本県葦北郡芦北町湯浦地先

集合場所：めしま女島トンネル起点側（別紙－1 案内図参照）

実施内容：①事業概要説明及び工事概要及び情報化施工の説明

②コンクリート舗装（3D-MCによる情報化施工）の見学

※取材にあたっては、会場の駐車場の準備がございますので、車でお越しの方は、別紙－2に記入のうえ9月11日（金）12時までにFAXにて送信願います。

問い合わせ先

（見学会や施工内容に関して）

鹿島道路株式会社 九州支店
女島トンネル作業所

TEL 0966-84-9767

管理技術者 よしのその たけし 吉ノ園 武志

現場代理人 かわはた ひろし 川畑 洋志

（事業に関して）

国土交通省九州地方整備局
八代河川国道事務所

TEL 0965-32-4135（代表）

副所長 ごたんだのしゆき 五反田信幸（内205）

事業対策官 きよとき よしお 清時 義雄（内208）

★八代河川国道事務所HPで管内の現場見学案内を掲載しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/yatusiro/road/kengaku/index.html>



九州地方整備局では、一般の方が見学できる現場見学会情報「今見てほしい九州の土木」をHPで公開しています。

<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-torikumi/kyushu-doboku/index>

別紙 - 2

平成 年 月 日

国土交通省 八代河川国道事務所

工務第二課 中野 宛

FAX 0965-32-1666

機 関 名	参加人数	車台数	代表者の連絡先
	名	台 車種	課名 氏名 TEL

(注)手書き記入で結構です。



鹿島道路株式会社

3D-MCスリップフォームペーパー

3D-MC : 3 Dimensional Machine Control

～ 設計データで建設機械を自動制御～

急速に発展した最近の情報処理技術は、従来の光学的機能を主とした測量機器(トータルステーション)に自動計測機能を付加することを実現しました。

また、建設機械においても、複雑な操作を電子機器によって容易に制御できるようになってきております。これらの異なる分野での技術の熟成に伴い、設計データを用いて建設機械を直接制御できる技術が確立されました。

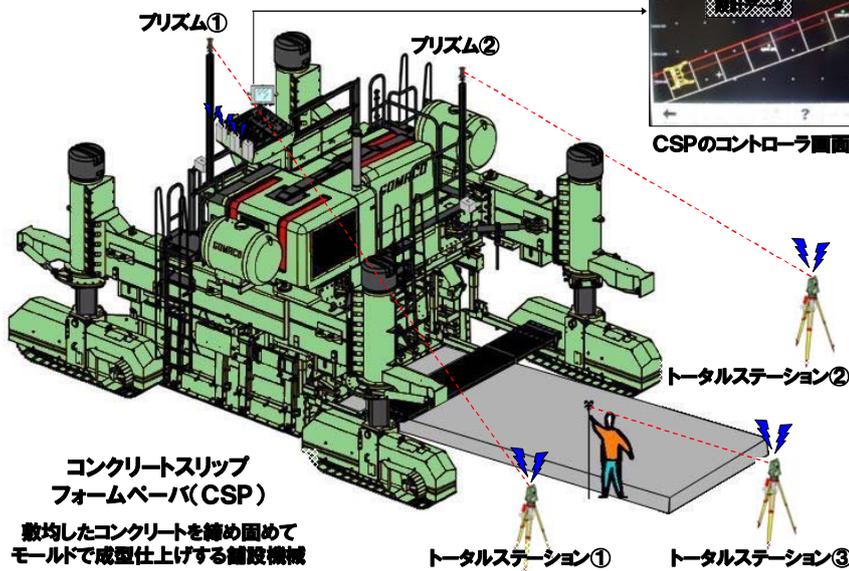
これを『3 Dimensional Machine Control (3D-MC)』システムと呼んでいます。

動作の仕組み

トータルステーション①、②はコンクリートスリップフォームペーパー(CSP)のプリズム①、②の座標値をCSP側へ送信する。

CSPのコントローラはプリズム座標を受信し、敷均し装置であるモールドの位置と機械の走行位置を算出する。

CSPのモールドの位置・高さや機械走行位置を設計データと比較し、自動制御する。



実施工例

—GOMACO社Commander III—



東九州自動車道
門川舗装工事



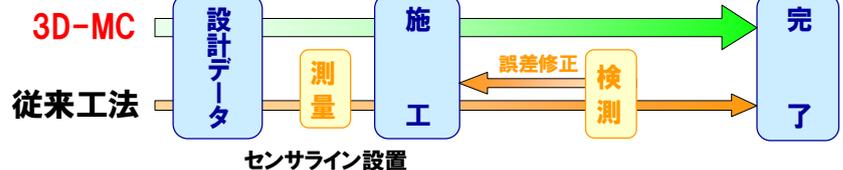
—GOMACO社GHP2800—



第二東名
清水東舗装工事

従来工法と

『3D-MC』



『3D-MC』は、モータグレーダ、ブルドーザ、アスファルトフィニッシャ、切削機、コンクリートスリップフォームペーパーに対応しています。



モータグレーダ ブルドーザ



アスファルトフィニッシャ



切削機

『3D-MC』の特長

- センサライン※の設置・検測作業が不要である。
 - センサラインが無いので、現場内で安全に作業できる。
 - 電子データによる自動制御のため、施工量の向上が図れる。
 - 夜間やトンネル等の暗所でも正確な施工が可能である。
 - 自動制御による仕上り精度の向上と均一化を図ることができる。
 - データを一元化することで、ミスの減少を図ることができる。
- ※従来のスリップフォームペーパーにおける敷均し高さ、勾配、ステアリングを制御するためのセンサが基準にするガイドライン。施工前に位置・高さを測量してラインを設置する。



KAJIMA ROAD CO., LTD.